

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### お釈迦様が説く全面的な成功 アルボムツレ・スマナサーラ (スリランカ上座仏教長老)

1. お釈迦様が人々に生きる道を説かれる時は、常に言葉の定義を明確にされました。そして仏教的な成功というのは、どんな側面から人生を考えても問題がなく、安全なものです。仮に会社が大きな成功を収めても、家庭がハチャメチャだったら、その人生は成功とは言えないでしょう。逆に家庭でいくら立派なお父さんでも、会社に行ったらだらしのない、間抜けな社員だったら、人生は面白くないでしょう。
2. お釈迦様が説くのは、全面的な成功です。人生のあらゆる面で自分の能力を発揮していくべきで、正しく考えさえすれば、それは可能なのです。仕事では専門的な知識が必要です。そういう専門的な知識というのは、一つ、二つあれば十分です。あとは生きることです。人間には、生きるために必要な細胞は最初から備わっています。しかし、使うべき時に使わなければ壊れてしまいます。
3. すべての細胞は、心によって機能します。仏教が大切にするのは心です。肉体には使用期限があり、いずれ捨てていくものです。お金も、家族も、会社も同様に死ぬ時にはすべて捨てていくものであって執着には値しません。しかし、生きている間に心をしっかり浄化し、よい心に育てておけば、死後も抜群に幸福になれるのです。

(参考:「致知」2015年3月号)

## 経営者のための理念・哲学

### 創業者の伝記を共通の理念とした

#### 桃谷誠一郎 (桃谷順天館社長)

1. 一時は売上高を超える額の債務があった。桃谷順天館を復活させたが、大きかったのは、創業者・桃谷政次郎の理念や思いを従業員と共に再認識できたことだ。政次郎の伝記をたまたま見つけた。それを皆で読むことで、桃谷順天館が創業以来大事にしている「美しくなりたい女性の役に立つ」ということを、共通の理念にできた。
2. 製品の品質を高めることが、売り上げ増のためには必要だが、それだけではダメだ。いくら品質の良い製品でも、実際に使ってもらはないと良さが分からない。だから、中身を開発するのと同じぐらいに「伝える」力を大事にしている。デザイン戦略室を新設し、自社内でデザインができるようにした。より細部にまでこだわって商品パッケージなどを考え、またそれを市場動向に合わせて適宜進化させている。

(参考:「日経ビジネス」:2014年2月16日号)

## 経営者のための危機管理

### アナリストの読みで再建

1. 小西美術工藝社は 80 人もの職人を自前で抱える。元ゴールドマン・サックス証券で、銀行アナリストのアトキンソン氏が入社する前には、存続の危機に瀕していた。アトキンソン氏が問題視したのは、職人の「特権意識」だった。「職人だった普通の仕事。本人の自己満足のために会社のカネを無駄に使うのはおかしいでしょう」。漆塗り職人である岩本元・専務取締役は「文化財という権威にひれ伏すような国民性に、業界がうまく乗っかる構図ができていた」と指摘する。
2. 「和紙が無形文化遺産になったら、次は呉服をといて話がすぐ持ち上がる。だけど、権威によってモノを高く売り付けようという発想なら危ない。それは結果的にお客を失うことになる」(アトキンソン氏)。今あるものを高く売るのではなく、求められるものを作るという発想にどう切り替えるか。「カイゼン」が求められる。

(参考:「週刊東洋経済」2015年1月17日号)

## 古典に学ぶ

### 蟬とりの男

(解説) 孔子が楚の国に行ったときのことである。林の中で 1 人のせむしがもち竿で蟬をとっていた。そのうまいこと、まるで拾うようだ。「実にうまい。何か特別な方法でもあるか」と孔子はきいた。「あります。5、6ヶ月練習して、竿の先に土だんごを二つのせられれば、失敗はほんの少し。三つのせられれば失敗は十に一つ。五つのせられれば蟬はまるで拾うようにとれます」。孔子は弟子を顧みていった。「一つのことには精神を集中すれば、神のようになるものだ」とはこの人のことだろう。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)